

## パネルディスカッション

### テーマ「キーワードで探る地域づくりのヒント」

- コーディネーター 奥田裕久（特定非営利活動法人サルシカ 代表理事）  
 パネリスト 石川禎紀（久居げんき会 代表）  
 井谷三枝子（手づくり工房・ワーイワイ 代表）  
 伊藤理恵（特定非営利法人マザーズライフサポーター 代表）  
 コメンテーター 筒井真（株式会社三重銀総研 代表取締役副社長）



#### 活動内容・選択結果

伊藤

乳幼児を抱える母親向けの地域密着型の情報誌の発行や、母親が育児を離れてホッと一息つけるネットワークづくりの交流拠点「ニコママカフェ」の開設・運営のほか、ママたちのグループワークによる就業支援など、鈴鹿市を拠点に総合的な母親支援に取り組んでいます。

**得手：企業とのコラボ、地域性**  
**不得手：収益力、行政との連携**

地域性については、地元のものを取り入れていくということに孤立育児の鍵があると思っていますので、地場産業や地域のお店などに重点的に目を向けるようにしています。

行政との連携に関しては、日々子連れで活動して

いるので、打合せにもなかなか行けない状況です。

石川

「自分たちが住むまち久居をもっと元気に。もっと盛り上げたい。もっと好きになってほしい」をテーマに、一般参加型・地域共同型で様々なイベントや事業を企画運営しています。今後は、地域の担い手となる地元の若者たちの活動基盤をすることにより、沢山の協力やアドバイスを得られるようなヒューマンネットワークづくりに取り組んでいきます。

**得手：アイデア、行動力**  
**不得手：マネジメント、収益力**

キャンドルを使用するグリーンフェスティバルでは、資金がないため、清掃業者などから廃油やキャンドルホルダーを作るためのペットボトルをもらったり、小学校の授業でキャンドルホルダーに絵を書

いてもらうなど、自分たちで考えながら取り組んでいます。

マネジメントについては、若い20代30代の方が多く、勢いがあるすぎるため、40代の私が押さえている状況です。行政とどのように連携をしていくか、地域の人とどのように関わっていくかなど、外部と繋げていくことが僕の役目になっていますが、その役目を担える人材を育てないといけないと思っていますが、うまくいっていないと思っています。

井谷

紀北町で地域の中高年女性たちの生きがいづくりを目的に「手づくり工房・ワーイワイ」を設立しました。空き店舗を活用して、地域のお母さんたちが手芸品やオリジナル防災グッズの製作・販売を行い、地域住民の交流の場を作っています。また、緊急時の搬送用具として開発した「かけモック」を用い、防災意識向上を目指した啓発活動にも奮闘しています。

**得手：アイデア、行動力**  
**不得手：収益力、地域性**

古紙や古布を再利用して色々なものをつくっています。その中で、ただの防災ずきんではなく笛や鈴を付けたりとアイデアを出しています。

地域性については、女ばかりで100名近く会員がいますが、よそから嫁いだ方が多く、地元の方があまり入ってこないという課題があります。影では、「よそから嫁いだ人ばかり集めて何をしているんだ。それでは地域を盛り上げられない。」と言われることもあります。そのためにイベントに参加したりしていますが、なかなか地元の方が入ってきてくれません。

#### まとめ

○ 奥田

結果を見て、意外なところなど、感じたところをお話いただきたい。

筒井

井谷さんの地域性は意外だと思うのですが、井谷さんの考える地域性というのは、今、地域で頑張っているということだけではなく、この先も地域の人と一緒にその地域で頑張りが続けられるかということまで展望されての課題だと思います。その意味では、後継者不足など、どこの地域でも同じような課題があると思います。一方、地域性の代わりに専門性はあるのではないかと思います。防災についての技術、ノウハウ、体験です。まさに全国に通用されているように、地域性も専門性も両方ということではなく、どちらかでもあれば通用するのだと思っています。

伊藤さんの行政との連携につきましては、行政側の問題もあるかと思っています。三重県も15年前にパートナーシップ宣言をして、各団体のサポートをしてきました。しかし、昔から三重県に住んでいる方ひとりひとりに徹底できているかといったら、まだ発展段階かと思っています。行政の方が行政の仕事として支援するのではなく、ひとりの県民として、ひとりの市民、町民として一緒になってできるかどうか。それができて始めて行政との連携がうまくいくと思っています。

○ 奥田

強みを更に生かして、どのように伸ばしていけば良いか、また、不得手な部分をどのように対策をしてカバーしていけばよいか、考えを伺いたい。

筒井

キーワードにはなかったのですが、ネットワーク力というものをそれぞれの団体が磨き、地域として補完することが大切だと思います。ひとつひとつの団体が完全を目指すことも大事ですが、自分たちの弱いところはあそこに任せよう、強いところはうちに任せてという形になれば、全体を足せば地域の強みが増すのではないのでしょうか。地域の元気はそういった形で繋がると強くなると思います。様々な団体がネットワークを組んで、全体として強くなるのが私の願いです。